

# 柿園管理情報 第3号

令和2年6月3日  
砺波農林振興センター  
城端果樹協会

## ■生育状況

本年の三社柿の開花初めは5月29日で満開は前年より4日遅く、5月31日頃となりました。(大西標準木)

病害虫については、マイマイガ等ケムシ類の発生は少なくなっています。

## ■今後の防除について

落花後は灰色カビ病の発生が多くなりますので、フロンサイドSCは必ず散布する。

カイガラムシは、6月下旬～7月上旬頃の、卵からふ化する幼虫に防除効果が高いので、今後の予察状況を見ながら、次号の柿園管理情報で防除計画をお知らせいたします。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	100リットル当たり薬量
6月8日頃	落葉病 灰色かび病 炭そ病	フロンサイドSC	2000	50ml

※ フロンサイドSCにかぶれやすい方は、ストロビードライフロアブル  
3,000倍を使用しましょう。

※ クミテン等 10,000倍 (10ml/水100リットル) の展着剤を加用して下さい。

※ 農薬散布は薬害の出やすい高温時を避け、周囲の他の作物に薬剤が掛からないよう、以下の点に十分注意して下さい。

- ① 農薬散布は無風または風が弱い日や時間帯を選び、風向き、散布器具のノズルの向きに細心の注意を払う。
- ② 収穫時期が近い作物が隣接するほ場に栽培されている場合、事前にその栽培者と連絡をとり散布計画を相談する。

※ 畦畔柿では、トップジンM水和剤 1,000倍を使用して下さい。